

# 主要観測ポイント

# 金山巨石群と太陽暦

© 金山巨石群調査資料室 2001.9



観測ポイント⑤

春分・秋分の頃

E石とF石でできる空隙へ山へ沈む直前の光が、E石の面に沿って射込みます

## 岩屋岩蔭遺跡巨石群

観測ポイント⑥



▲夏至の頃

線刻(せんこく)

夏至をはさんだ約120日間

観測ポイント①には「線刻」があります。この場所へは夏至の頃、山へ沈む太陽の光が射込みます。この頃の光は岩蔭遺跡を避けて(観測ポイント⑥)、夏至をはさんだ約120日間だけ線刻下の空洞へと射込みます

観測ポイント①



▲夏至の頃

県道金山明宝線

観測ポイント④(遺跡内)

冬至をはさんだ約120日間



10/23頃と2/20頃(冬至の約60日前と約60日後)

8:50~9:20

山から昇る太陽の光がE石の面に沿って遺跡内に射込みます



12:00頃

南中時の太陽の光が、F石庇の面に沿って遺跡奥まで射込みます



16:00~16:30

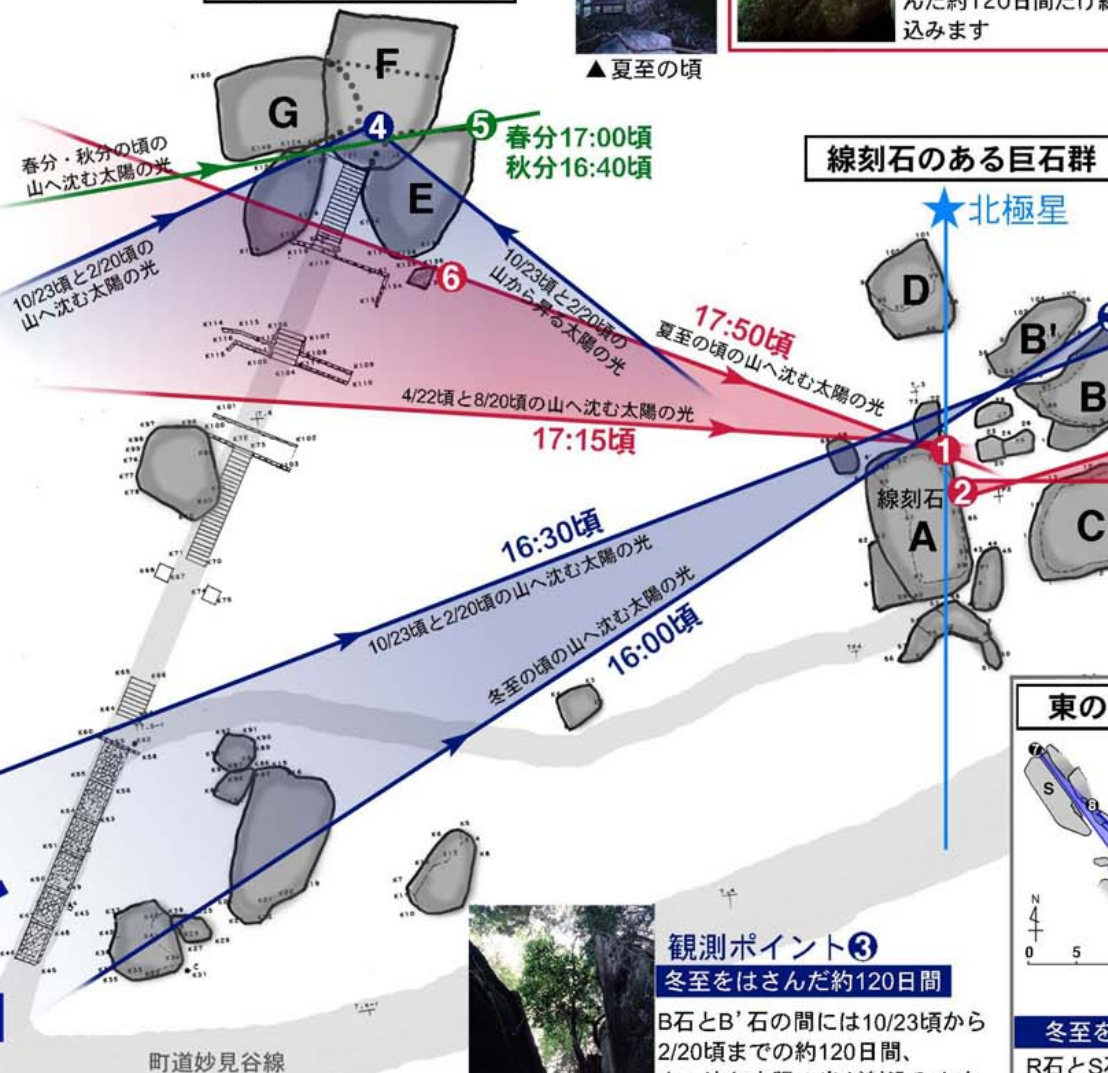
山へ沈む太陽の光がG石の面に沿って遺跡内に射込みます

観測ポイント④(遺跡内)

春分・秋分の頃

一筋の光(スポットライト)が遺跡内に射込む日と位置の関係から、1年365日のサイクルを正確に読み取ることができます

## 案内看板



## 線刻石のある巨石群

北極星

観測ポイント②

夏至をはさんだ約120日間

線刻石下部にある空間へ、夏至をはさんだ約120日間だけ、山から昇る太陽の光が射込みます



▲夏至の頃

## 東の山巨石群

上の2箇所の巨石群から真東に位置する山の中腹にあります(徒歩約40分)

観測ポイント⑧

冬至の頃

R石が示す方向から、山から昇る太陽が観察できます



観測ポイント⑦

冬至をはさんだ約120日間

R石とS石の間には10/23頃から2/20頃までの約120日間、山から昇る太陽の光は射込まない仕組みになっています



▲2.25(2000) 10:15

観測ポイント③

冬至をはさんだ約120日間

B石とB'石の間には10/23頃から2/20頃までの約120日間、山へ沈む太陽の光が射込みます



▲10.24

【お問い合わせ】金山町役場総合政策室 TEL0576-32-2203

0 10 20 30m

町道妙見谷線